

2018年10月31日  
東京ガス株式会社

2019年3月期第2四半期決算説明会  
主なQ&A

Q1：年度見通しの「補正経常利益」が対前回見通しで125億円増加している理由を教えてください。

A1：補正後の利益は、ガス、海外、エネルギー関連、不動産等が増加している。

Q2：電力小売件数が増加しているにもかかわらず、電力セグメントの年度見通しが対前年で減少している理由は何か。

A2：電力小売件数の増加と共に販売量および粗利は増加しているものの、電力小売件数の新規獲得を加速するため、夏のキャンペーンをはじめとする販売経費が増加していること等から、結果として対前年で減益となっている。今は将来に向けてのストックを確実なものとするため、小売件数を拡大する時期と考えており、引き続き2020年度の目標である240万件の契約獲得に向けて取り組んでいく。

以上